



イベントレポート



チケット
for LINE
Hybrid

\文化ホール担当者が実践！／

デジタル初心者がチケットサービス“0円”導入

業務効率化への成功術



2.28 水 15:00-16:00



株式会社IC 事業戦略本部
高橋 寛史



株式会社IC パッケージソリューション部
大塚 祐司



ゲスト

横浜市鶴見区民文化センターサルビアホール
木村 聡美



Agenda

開催概要	P.3
身近に広がるデジタル化とは？	P.4
導入企業	P.7
チケットの販売管理ならチケット for LINE Hybrid	P.10
チケット for LINE Hybridがおすすめな3つの理由	P.11
株式会社ICのご紹介	P.9

開催概要

- 目的：チケット販売のオンライン化の実態を知っていただくこと
- 開催日程：2024年2月28日（水）15:00~16:00
- 開催方法：Zoom

ファシリテーター

株式会社IC

パッケージソリューション部

大塚 祐司



株式会社IC

事業戦略本部

高橋 寛史



身近に広がるデジタル化とは？～電子チケットについて～

紙チケットをデジタルデータ化

お客様のスマートフォンに直接届くチケット

チケット申込み、お支払い、チケットの受取り、
そして入場まで1台の **スマートフォンだけで**
完結させることができます。



呼び方は様々

- 電子チケット
- デジタルチケット（デジチケ）
- オンラインチケット
- eチケット（エレクトロニック・チケット）



電子チケットの利用方法

電子チケットのお客様へのお届け方法



メールやSNS、専用アプリ等を経由してお客様にお届け

活用方法

通常

QRコードやバーコードを
入場時にかざして読み取ることが多い

専用アプリの場合

スタッフがお客様のスマホ画面をタップしたり
電子スタンプを押したりして
入場受付をするパターンもある

デジタル化を推進するメリット



ペーパレス化

用紙代や印刷代のコスト削減。在庫場所の確保が不要。



業務効率化

配券やもぎり作業が軽減。販売枚数や当日の来場者数も自動管理されるので、動員数・売上報告書が簡易に作成可能。



スムーズな入場

入場処理の人為的作業が減り、より効率化・高速化。またシステムによっては非接触入場も可能なため、コロナ対策にも。



窓口購入の混雑回避/ 24時間いつでも購入可能

店舗・施設の営業時間を気にせずに24時間購入可能。事前決済の為、窓口購入するお客様の混雑回避。



配送不要/発送作業軽減

事業者様：チケットを発券・発送手配の手間がなくなる。
お客様：配送料の負担や配送時間に合わせて家で待機する必要がない。



紛失/チケット忘れ軽減

紙チケット販売は、購入履歴を残せない場合も多く再発行が難しい。
電子チケットはスマートフォンを持つことで常時チケットを持参している状態になるので、大切なチケットを忘れたり、無くしたりするリスクを軽減させる。

横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール様



事業内容

当施設運営、自主事業イベント企画・運営

導入前の課題

チケットは窓口販売、支払いは原則現金支払いのみで非効率のため、お客様からチケット販売のオンライン化を要望されていた。



横浜市鶴見区民文化センターサルビアホール
自主事業責任者

木村 聡美 さま

経歴

音楽大学院修了後、アパレル接客に就く。
その後、広報、EC運営等を経験し、現在は施設
運営・企画制作に携わる。

自身も音楽家であった経験やコミュニケーション力
を活かし、自主事業の成功とより良い施設運営を目
標に、一緒に働くスタッフと共に日々奔走中。

Before

チケットは窓口販売、支払いは原則現金支払いのみで非効率だった

- 人気の公演の場合、チケット発売日の窓口に人が殺到。人員配置や増員を迫られ、対応に時間を割かれてしまうことが問題。
- 座席表が1枚の紙だったため、座席の確認に手間取り、お客様をお待たせしてしまうこともあった。

After

トラブルもなくスムーズにイベントが進行！

- 思った以上にお客様が電子チケットに慣れており、スムーズに入場していただけた。
- 今までは集計作業で半券を数えていたが、当日支払いもなく、事前決済になってとても楽になった。



想像以上にお客様が電子チケットに慣れており、トラブルもなくイベントが進行！

チケットの販売管理ならチケットfor LINE Hybridがおすすめ！

LINEで簡単に チケットの販売管理を

チケット for LINE Hybridは、
LINEで出来るクラウド型チケット
販売管理サービスです。



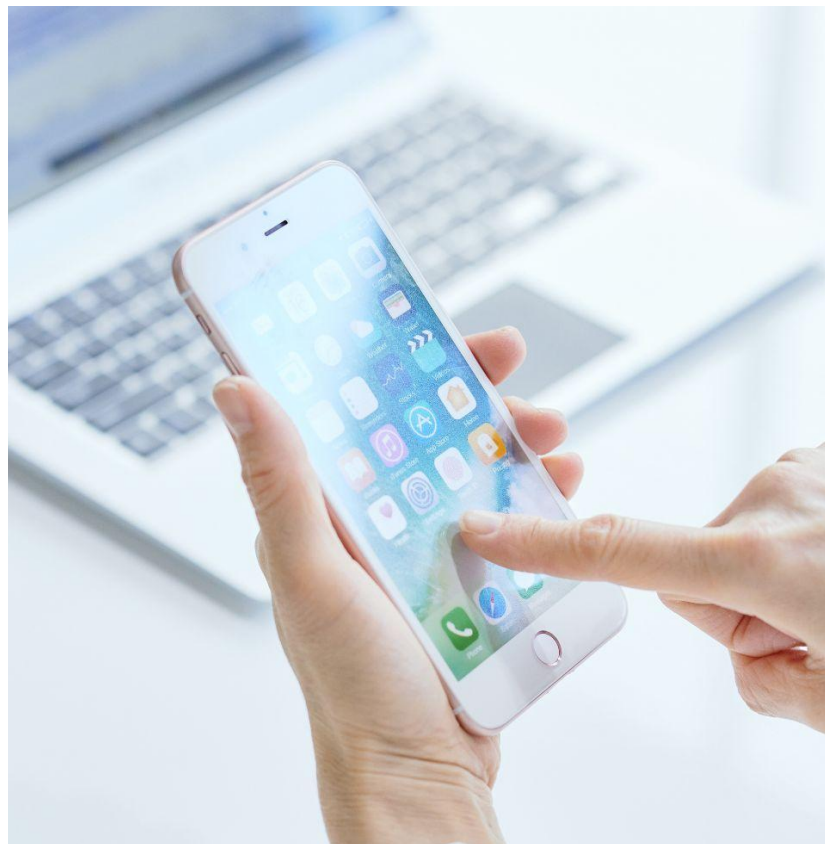
LINEと連携

LINEをUIとした
電子チケットシステム



初期導入費
月額固定費

0円



チケットの販売管理にチケットfor LINE Hybridがおすすめの3つの理由

コストは販売手数料のみ

初期費用と月額の
固定料金は無料

初期費用と月額の固定料金は無料で、支払いは使った分だけにおさまる！

発券手数料など購入者の負担がない

発券手数料が不要

購入者がチケットを
買う段階で戸惑うことが
ない！

目に留まりやすいLINE告知で
新規集客を実現

多くの方が利用する
LINEと連携できる

イベントを告知・お得な
クーポン発行など、
色々なアプローチが可能！

その他のお問合せ

— お気軽にご連絡ください —

電話

0120-014-110
(平日：09:00～17:00)

メール

ticket-line_inquirie
@ic-net.co.jp

当社のサービスサイトもぜひご覧ください

<https://tfl.ic-product.jp/>



お問い合わせはこちら>>



会社概要

商号

株式会社IC

代表

代表取締役社長執行役員 齋藤 良二

代表取締役副社長執行役員 三澤 昇平

事業内容

情報サービス分野におけるソリューションの提供

ITソリューション

ITサービス

- ・ソフトウェア開発
- ・インフラ設計構築
- ・システム運用支援
- ・パッケージ開発/導入支援

資本金

4億7百万円（2021年9月末現在）

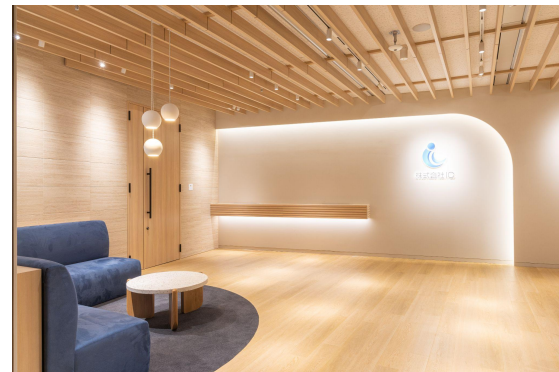
設立

1978年2月20日

拠点

東京都港区港南2丁目15番3号 品川インターシティC棟7階

ホームページ <https://www.ic-net.co.jp/>



END